

# 春日井市民病院におけるSDGsの取り組み



SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。

SDGsは国連加盟193カ国が2016年から2030年までの15年間持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

SDGsは発展途上国のみならず、格差の解消・働きがいの創出・成熟期の経済成長などの問題に先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、当院においても直接的なものだけではなく間接的なものにも積極的に取り組んでいます。

愛のある医療を  
地域の未来のために。  
。

# 春日井市民病院

Kasugai Municipal Hospital



## 思いやりの心で 医療に向き合う。

私たちは開院以来、地域のみなさまに安心と想いやりの医療を届けてきました。そしていま、地域完結型医療の中核としてより高水準な医療の提供、地域包括ケアの構築、人材育成に取り組みながら、愛のある医療を目指しています。



この地域の  
未来を見据えて  
救急医療を強化。

高度急性期  
医療の充実



より高度で先進的な急性期医療を継続的に提供するため、診療体制の強化を図り、愛知県尾張北部地域の救急医療の一端を担っています。

3 すべての人に  
健康と福祉を



10 人や国の不平等  
をなくそう



11 住み分けられる  
まちづくりを



16 平和と公正を  
すべての人に



## 断らない救急

当院では、医師をはじめ多くの医療スタッフが、24時間365日体制で救急医療に対応。脳卒中、心筋梗塞、重度の外傷など、重篤患者の治療にあたっています。愛知県下トップクラスの年間約1万台の救急車を受け入れている実績や診療機能体制などが評価され、平成27年10月、県から「救命救急センター」の指定を受けました。



処置室

3 すべての人に  
健康と福祉を



9 産業と技術革新の  
基盤をつくる



16 平和と公正を  
すべての人に



## 迅速な診断と安心の治療

救急救命センターには、処置室、観察室、X線・CT撮影室、救急病床6床等を設置しています。さらに内視鏡室、血管撮影室、手術室、集中治療部等と連携し、治療開始まで迅速かつシームレスに行える体制を整えています。



X線・CT撮影室



血管撮影装置

患者への放射線被ばく量の低減、治療時間の短縮を図るために、  
2方向からの同時撮影が可能なバイプレーン装置を導入。



救急病床

がん治療の  
最前線で  
患者とともに闘う。



愛知県がん診療拠点病院に指定されている当院は、手術療法、化学療法、放射線治療を組み合わせた集学的治療を行い、患者の病状や体調に応じたきめ細やかな医療を提供しています。

3 すべての人に  
健康と福祉を



9 産業と技術革新の  
基盤をつくる



11 住み続けられる  
まちづくりを



16 平和と公正を  
すべての人に



## 進化し続ける手術療法

手術の安全性を最優先させ、術式を選択します。従来の開腹手術や開胸手術だけでなく、患者の負担が少なく、早期回復が可能となる低侵襲手術(内視鏡手術や腹腔鏡手術)も多く実施しています。

## 国内最先端をいく 放射線治療

強度変調放射線治療に特化した最新鋭の放射線治療装置「トモセラピーHDA」を導入。がん組織には高線量を照射しながら、健康な組織への線量を抑えることで副作用を低減。通院治療にも対応しています。

## センター化で 躍進を遂げた化学療法

自宅で普段の生活をしながら、または仕事をしながら抗がん剤、分子標的薬のほか、ホルモン剤での治療を受けられる体制を整備。抗がん剤に精通した専門チームが、がん患者を身体的・精神的にケアします。



さまざまな医療専門職の  
知識や技術に  
熱い思いを集めて。



医療の質の  
強化と  
チーム医療

専門職が、それぞれのスキルを発揮しながら連携し協働するチーム医療は、ひとり一人の病状の変化に適した質の高い医療の提供を実現しています。



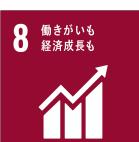
## ■ 感染対策チーム

感染予防の管理プログラムを立案・実践しているほか、重症感染症の治療計画の提案と抗菌薬の適正な使用を推進しています。



## ■ 呼吸ケアチーム

人工呼吸器を装着している患者の管理方法の標準化や、人工呼吸器からの早期離脱の支援などを行います。



チームカンファレンス



## ■ 緩和ケアチーム

病気による痛み、吐き気・嘔吐、呼吸困難などの身体的症状だけでなく、精神的な苦痛のケアも行います。

## ■ EOL (End of Life) ケアチーム

患者や家族が、人生の最終段階において受けたい医療を意思決定できるよう支援し、その決定を尊重した医療を提供しています。

## ■ 栄養サポートチーム

患者や家族から食生活や嗜好を聞き取り、栄養管理の計画を立て、栄養状態を良好にすることで、早期の離床や退院を目指しています。

## ■ 褥瘡対策チーム

皮膚の炎症、褥瘡などの予防のため、マットレスの選択や体位変換のアドバイスを行います。

## ■ 摂食・嚥下リハビリチーム

嚥下機能の評価を行い、食事や食形態の検討をし、さらに口腔ケアも行います。



病棟回診

学習意欲と  
向上心に応える  
環境の整備。

研修設備と  
職場環境



日々の業務をこなしながら、専門知識や技術をさらに向上させるため、医師や医療スタッフは自己研鑽に励んでいます。その真摯な姿勢と情熱を、全面的に支援する環境を整備しています。



## スキルスラボ

安全・安心な医療を提供するため、診療手技、技能の実習及び視聴覚教材を用いた学習や研修が実施できます。



## 保育所

0歳児から2歳児までを対象とした保育所を敷地内に設置。子育て中でも安心して働くことができる環境を整えています。

## 図書室

診療、教育、研究支援のための図書、論文、雑誌の閲覧や貸出を行っています。また、電子ジャーナルも閲覧できます。

## 宿舎

不規則な勤務でも安心して生活できるよう、新規職員を対象とした研修医宿舎と看護職員宿舎を整備しています。

この地域に  
安定した医療を  
いつまでも。

地域医療と  
情報発信

## 春日井市民病院

急性期病院・地域の基幹病院

急性期治療

手術

専門外来

三次救急

地域の診療所

経過治療

健康管理

在宅医療

一次救急

地域の医療・福祉機関

在宅医療

療養型病床

老人保健施設

リハビリテーション

地域完結型  
医療



当院は、かかりつけ医、介護サービス事業者、保健・福祉行政と連携を深めながら、この地域の基幹病院として地域医療の効率化を推進し、「地域完結型医療」を構築します。また、地域にさまざまな情報を発信し、親しみのある市民病院を目指しています。

## 地域医療との連携

### 地域医療支援病院

当院のスタッフが、地域の医療スタッフの医療知識と技術の向上を支援するために、定期的に研修会を開催しています。



地域連携研修会

### 地域中核災害拠点病院

災害時、医療救護活動の拠点となる当院は、被災現場で応急救護を行う他の救急病院や救急診療所、救護所などと連携し、重症患者の適切な医療を確保します。



災害時を想定した訓練

## 地域にひらかれた医療

### 情報紙などの発行

当院で行われている医療の取り組みや、医療に役立つ情報をわかりやすく紹介しています。



地域連携誌「Trinity」・病院新聞「さくら」

### 市民公開講座

多職種の医療スタッフが講師として、病気とその治療方法や予防、家庭での看護など、幅広い視点で一般市民に有用な情報を提供しています。



市民公開講座

対応も、施設も、  
患者の立場で考える。



治療の場で過ごす時間を、  
可能な限り便利に心地よく。

